

2024年12月23日

各位

会社名 株式会社ネオマーケティング  
代表者名 代表取締役 橋本 光伸  
(コード：4196、東証スタンダード・名証メイン)  
問合せ先 取締役 CFO 森田 尚希  
(TEL. 03-6328-2880)

### 上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2024年9月30日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社は、2024年9月30日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況について下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を満たしていません。流通株式時価総額に関して、2025年9月末までに上場維持基準を満たすため、各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	3,841人	8,464単位	9.6億円	33.4%
上場維持基準	400人	2,000単位	10.0億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2025年9月30日	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値を乗じて算出しております。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

##### (1) 基本方針

当社は、スタンダード市場上場維持基準の適合に関して、「株主数」、「流通株式数」及び「流通株式比率」については基準値を満たす数値を維持しておりますが、「流通株式時価総額」が基準に達

しておりません。そのため、当社は「流通株式時価総額」の基準値である 10 億円を目指し、持続的な成長と企業価値（当期純利益）を向上させることで、流通株式時価総額の増加を図り、上場維持基準への適合に向けて取組んでまいります。

## （2）課題

当社は、流通株式時価総額がスタンダード市場の上場維持基準を満たしていませんが、その主な要因は株価低迷によるものと認識しております。株式市場の評価を得るために、以下の取組を進めてまいります。

## （3）取組内容

### ①企業価値の向上

株式市場の評価を得るためには、高成長性と高収益性の同時追求による業績の向上と成長戦略が重要であるとの考えに基づき、当社では 2026 年 9 月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしました。現在は、「中期経営計画」に基づき、さらなる成長のための投資期間と位置づけ、積極的な成長戦略を推し進めております。具体的な取り組み方針は以下の通りです。

#### a. マーケティングコンサルタント数の増員

今回の中期経営計画期間では、過去と比較して、多くのマーケティングコンサルタントの採用を計画しています。リファラル採用を継続しつつ、新卒採用にも積極的に取り組み、早期戦力化のための施策を用意しています。

#### b. 顧客数の拡大

対応エリアの拡大を目指し、首都圏以外のクライアント発掘のため、全国への拠点開設を計画しています。地方の優良企業にはマーケティング支援を行うべき企業が存在しています。

#### c. 顧客単価の増大

サービスメニューを拡充することで既存サービスのアップセルクロスセルを積極的に行います。従来のマーケティング支援に隣接する新メニューを構築することで、クライアントとより密接な関係性を築いていきます。

当社は、上記の成長戦略を推進することにより、上場維持基準の達成を目指してまいります。

### ②株主還元の実策

健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、各期の経営成績及び財政状態を勘案して、株主優待制度の継続及び拡充を検討いたします。また、配当についても、早期に継続的かつ安定的な剰余金の配当を行うことを基本方針とし、株主還元の充実に努めてまいります。

### ③IR活動の強化

当社の株価が低迷している一つの要因として、当社の IR 活動が東京証券取引所にて定められている必要最低限の情報開示であり、市場における認知度や期待度が低迷していることが原因だと認識しております。今後はより積極的な情報開示に努めると同時に、個人投資家層の認知拡大を目的とした会社説明会の実施や各種説明会の書き起こし記事による情報配信に努めるなど、様々な取組を行ってまいります。

以上